



旭丘授業デザイン

時間	学習活動・教師の手立て		めざす児童の姿
5分	課題をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> 体験、興味・関心をもとにした課題設定 必要感、学びごたえのある課題設定 教科の見方・考え方を踏まえた共通の軸 教材の視覚化、既習、学習計画の見える化 課題解決の見通しを持たせるための工夫 	<p>「なんでだろう？」</p> <p>「…を使えば、できるかな。」</p> <p>「□□がわかれば、きっと○になると思う」</p> <p>「やってみたい！」</p> 
5分	自分の考えを持つ	<ul style="list-style-type: none"> 既習の活用 教材文、資料、図等、根拠をもとに考えさせる 不十分な考えの見取り、肯定→活用 自己存在感の感受につながる働きかけ 	<p>「Aだと思う。なぜなら…」</p> <p>「～まではわかった。」</p> <p>「文に…と書いてあるから、～だと思うな。」</p> <p>※書き残す</p>
25分	伝え合う・深める	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いたいと思えるようなしかけ タイミング、グループ構成のコーディネート 思考を可視化するためのツールの活用 目的や視点を明確にした話し合いの場の設定 ねらいに迫るための思考を深める発問、問いかけ、問い返し 個に応じた支援 自己存在感の感受につながる働きかけ 	<p>「～のところから…と考えたよ。」</p> <p>「どうしてそう思ったの？」</p> <p>「だって、○○だから▲▲ってことが言えると思うよ。」</p> <p>「～のところもっと詳しく教えて。」</p> <p>「なるほど！」</p> <p>「そういう方法もあるね。」</p> <p>「…さんの考えを聞いたら、私も考えが変わった。」</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>キーワードの位置付け（教科の見方・考え方、教科の用語等）</p> <p>国語…教材文の叙述 算数…既習事項、図・表・式、規則性</p> <p>社会…写真やグラフ等の資料 理科…既習事項、実験や観察の結果、生活経験</p> </div>			
10分	適用問題・まとめる・振り返る	<ul style="list-style-type: none"> キーワードを使ってまとめさせる ねらいや子供の実態に合わせた適用問題 わかったことのアウットプット 学びを自覚できるようなふり返りの観点 	<p>「今日のキーワードは□□」</p> <p>「授業の大事なところは…のところだったね。」</p> <p>「○○さんの説明を聞いたら自分でもできたよ。」</p> <p>「次は…なことを調べてみたい。」</p>

実践

自己存在感の感受につながる働きかけ
めざす姿のための適時、適切な働きかけを継続的に行う